

Type 07

取扱説明書





製品を安全にご使用いただくために









製品をセットアップする前に下記の注意事項を必ずお読み下さい。

本取扱説明書はいつでも読めるように所定の場所に大切に保管して下さい。

下記の注意事項に従い、製品の安全なご使用をお願い致します。

絵記号の説明

	正三角形の中に先が矢印となっている落雷マークの絵がある記号は、製品の封入物には人へ感電する恐れが十分にある「危険な電圧」の非絶縁な存在を表示しています。		CAUTION 警告 感電の恐れあり 開けるな!	
	正三角形の中に感嘆符の絵がある記号は、装置に付属している文献にメンテナンス (整備用) や重要な操作の存在を表示しています。	CAUTION 火事や感電の原因となりますので、背面カバーや他の部品を分解しないでください。ご自身の手で施しはできません。雨や湿気のある場所でのご使用はおやめください。修理が必要な場合はサービスエンジニアにお問合わせください。		

	感電を防ぐために、スピーカーの中身を開けて分解することはしないでください。必ずサービスエンジニアにご相談ください。
	この製品は IEC60320 AC 主電源コードと必ず接続されているようにしてください。
	ケーブルの接続、取り外し、またはスピーカーのクリーニングを行う際には、全システムの電源を必ずお切りください。クリーニングの際には決して可燃性または可燃性化学薬品を使用しないで下さい。
	HEDD スタジオモニターは世界共通機材を使用しています。スピーカーは電圧 85 - 264V の間で作動します。電圧を変える必要はありません。
	このユニットを不安定なカートやスタンド、三脚、テーブル等に乗せないでください。ユニットを落下させた場合、重大な故障及び損傷を引き起こす原因となります。
	製品を決して外で使用しないでください。雨や湿気の多い場所は避けてください。
	電源コードやオーディオケーブルが踏まれないようご注意ください。
	欠陥のあるケーブルの使用はスピーカーの故障、雑音、音割れの原因となります。

	電気機器はお子様の手の届かないところに保管してください。
	雷時は繊細な電気機器の接続を外してください。
	モニターはコンセントの近くに設置し、電源ケーブルの取り外しを容易に行えるようにしてください。
	A Cメイン電源から完全に切り離すには、コンセントの接続を外してください。
	ダイヤフラムに触れないようにしてください。常にウーハーのベンチレーションポートは開けておいてください。
	極度に温度の高い場所、低い場所での使用はおやめください。スピーカーの背面パネルは直接日光が当たらないようにしてください。引火性のある場所での使用は絶対にしないでください。
	大音量での再生はあなたの聴覚に害を及ぼす可能性があります。大音量での再生の際には十分にご注意ください。
	スピーカーの背面には放熱に十分なスペースを確保してください。
	壁への設置は、乾いた場所で非導電性の壁（木製、プラスチック製）にのみ設置してください。その他の壁質の場合、壁との間にパネルを追加して設置してください。損傷を防ぐために、ウォールマウントブラケットの設置方法に従い安全にお取り付けください。
	スピーカーを持ち運ぶ際は背面パネルが体の方に向くようにしてください。持ち運び方を誤るとウーハーの振動版がダメージを受けてしまいます。（保証適用外）
	スピーカー用のドライバーは防磁ではありません。磁気テープやクレジットカード、CRT モニター等を振動版の近くに置かないでください。
	強磁性の（鉄等）の小さなネジや切屑などをツイーターに近づけないでください。ツイーターの強磁場が、振動版にそれらを引き寄せる恐れがあります。ツイーターに永続的にダメージを与える可能性があります。（保証適用外）
	キャビネットの表面をクリーニングする際はマイクロファイバークロスを適度に湿らせて使用することを推奨します。強い洗浄液は使用しないでください。振動版からほこりをふき取る際は柔らかいブラシを使用してください。
	スピーカーを輸送する場合は、オリジナルのパッケージを使用してください。これが安全に届けられる方法です。

初めに

この度は Type 07 ニアフィールドスタジオモニターをお選びいただき、誠にありがとうございます。

私たちは、このアクティブスピーカーの原点とも言えるパワフルで素晴らしい分解能を持つサウンドによって貴方のご期待に十分に応えます。このスピーカーは、ステレオ・ミキシング、マルチチャンネル・セットアップ、マスタリング、ビート (リズム) のプロデュース、弦楽四重奏、ロックバンドなど、オーディオ関連すべての仕事に最適です。

あなたは、注意してモニター取り出し、少しの時間をかけて部屋の温度に順応させます。(1時間あれば十分でしょう) あなたのオーディオシステムは、XLR (バランス) や RCA (アンバランス) 入力もしくは HEDD ブリッジ入力 **(1,6,7)** に接続されます。コンセント (8) に接続するまでもう少しです。

そしていよいよ、あなたが待ち望んできたこの時がやってきました。SOURCE スイッチ **(5)** 上で選択した入力を確認し、バックパネルにある電源を・・・押してください！

ちなみに：これらのスピーカーが 85V-264V **(8)** で稼動するユニバーサル電源が搭載されていることをご存知ですか？これは我々のアンプが任意の電圧条件の下でのフル稼働で動作するということです。

GAIN

貴方の仕事場にスピーカーを適応させるために、バックパネルにつまみがたくさんあります。初めに、あなたは、スピーカーを Gain Control **(4)** によって -30dB ~ +6dB 間の適切なボリューム位置にセットします。

シグナル・チェーンにスピーカーを適応させるために、またそれぞれのスピーカーの異なったレベルを補正するためにこのコントロールを使用することができます。レベルの差は、あなたのリスニングポジション、室内音響、またはコントロールノブのトレランスのわずかな変化によって引き起こされる可能性があります。

空間に合わせるシェルビングフィルタ

あなたは、このモニターを聞くことにとっても満足を感じられるでしょう。しかしあなたの部屋やその音響特性によっては本当の満足を得られていないかもしれません。部屋の大きさが非常に小さく、壁や部屋の角に置くほかないため低音が過剰になるのでは・・・。

あなたは、非常にブライトでガラスや石などで囲まれた大きな部屋とか、大きなカーテンと美しいが分厚いカーペットの防音の部屋などで仕事をしているかもしれません。

これらのような環境の場合、このリッチなサウンドクオリティを最大限に引き出すのは困難です。そのため、我々は2つの有効的なシェルビングフィルタ **(2,3)** をデザインしました。下記をご参照ください。

- ローシェルフは、50Hz(±4dB) 付近のボトムエンドを変更できます。
- ハイシェルフは、20kHz(±4dB) 付近のディテールと透明度を取り戻す手伝いをします。



1

2

3

4

5

6

7

8

初めに

STATUS LEDs

Type07 をデザインした際、我々の指針のひとつは、最小に外観を保ち、可能な限りエレガントにということそしてバックパネルにスピーカーのコントローラーを置くということでした。

スピーカーの前面には下記のような方法で動作状態を示す素晴らしいLEDフロントパネルを見つけられるでしょう。

- ・レッドLED「OL」は、スピーカーのリミッター回路が効き始めて、ドライバーをオーバーローディングから保護すると、赤い「OL」LEDが点灯します。それは特に問題ではありません。しかし、「OL」LEDが定期的に点灯するか、極端な場合常に点灯しているならば、入力された信号のレベルを減らして、点灯しないようにしてください。
- ・グリーンLED「PWR」は通常電源オンの状態を示します。グリーン=Good！
- ・ホワイトLED「SYNC」は、我々の HEDD ブリッジの拡張カードのうちの一つを差し込んだ時のみ点灯します。

LEDはスピーカーがデジタルソースと同期したということと、オーディオストリームを受信していることを教えています。

HEDD BRIDGE

さて、まとめに、我々が呼ぶ HEDD ブリッジとは、そしてバックパネルにあるカードスロットは何なのか？

それは・・・今はアナログ的な話は控えておきましょう。

このスピーカーの独特な様相のひとつは様々なデジタルプロトコルを操作できるという事実です。

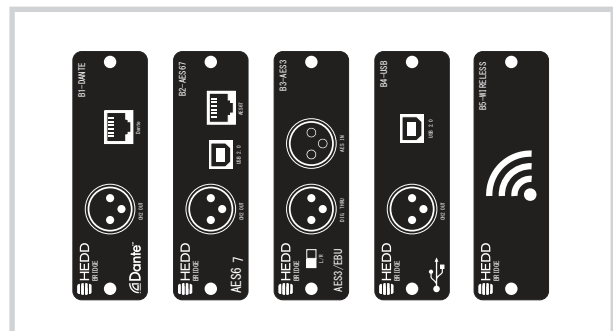
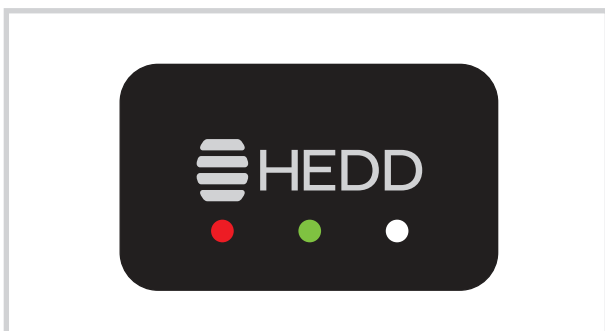
HEDD ブリッジは USB2、AES3、そして AES67/Dante(Audio-over-IP 適合性) を与えるモジュラー入力カードシステムです。

我々の利用可能な入力モジュールをひとつ選び、あなたはいよいよデジタル領域へ入る準備ができました。

最新開発 Audio-over-IP、これは世界初演以外の何物でもありません。

このモニターを CAT 6 イサーネットケーブルを通してあなたのコンピューターに直接繋ぎ、ハイレゾ・オーディオを 96kHz までストリームさせます。

もしくは、もしあなたが複雑なマルチチャンネルをセットアップするのに十分な技術を持っていれば (Dolby Atmos、Auro 3D 等)、すべてのスピーカーが制御ソフトウェアを通じて個別に管理可能です。高解像度オーディオストリームを複数の HEDD モニターに個別に供給することができます。これはまだまだ初めに過ぎません・・・





スピーカーの設置方法

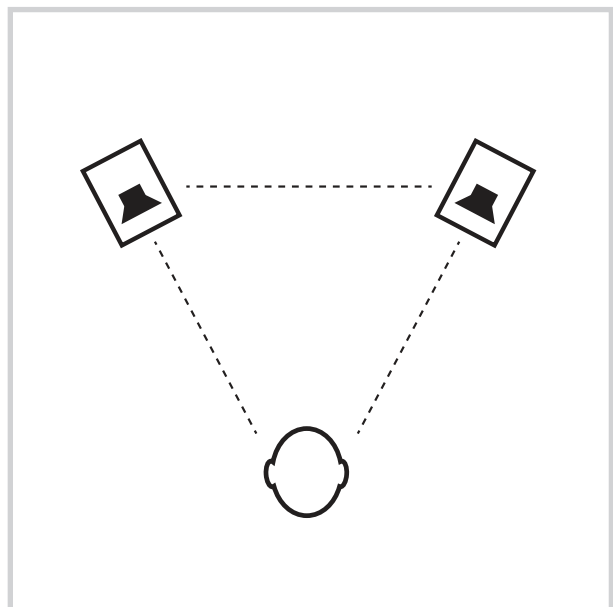
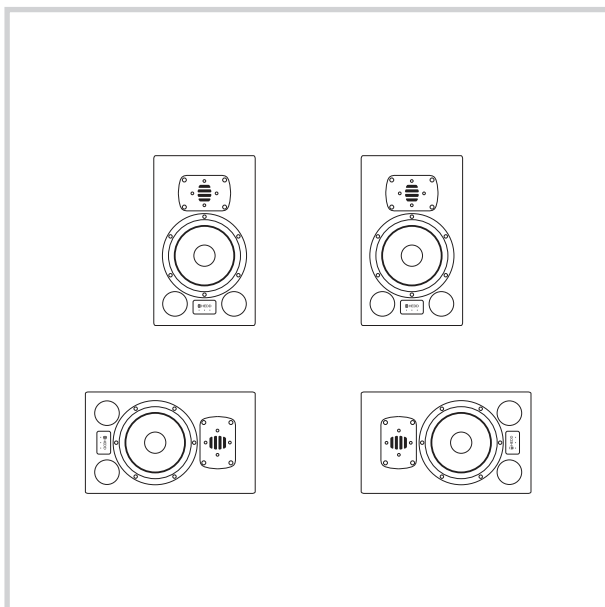
縦置き&横置きのセットアップ

ステレオセットアップでは基本スピーカーを縦置きにし、表があなたの方に向くようにしてください。
ツイーターはあなたの耳の高さに合わせます。(よりサウンドを近くに感じてください)

Type 07 のペアを横向きに置くことも可能です。この時、2つが鏡のように左右対象になるように並べてください。
両方のツイーターは内側に向くようにしてください。

ステレオの配置

あなたの聞く位置を最適化するために、2つのスピーカーを貴方の耳から正三角形を形作る様に設置します。
(下の図のように) この位置は2つのスピーカーの間の架空のセンターポイントであるとイメージしてください。
そして、もしスペースがあれば、レコーディングをしたり、普段聞いている曲でスピーカー間の距離や自分の聞いている位置との距離を調整してみてください。本当のステレオパノラマが聞こえたと思ったら停止してください。
あなたの聴覚を信頼してください。このスピーカーは今やあなたの最高のパートナーです。



スピーカーの設置方法

サラウンド・ポジショニング

あなた自身を中央にしてスピーカーを円の周りに置き、次のように配置してください。

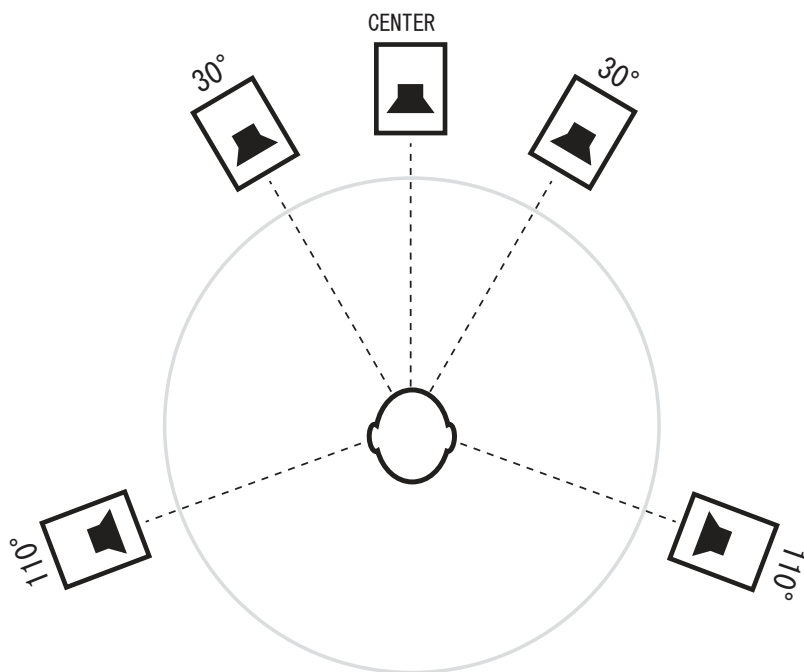
中央 0°、右前 30°、右後ろ 110°、左後ろ 250°、左前 330°。円の大きさは半径 0.7m～2mの間になるようにしてください。

壁にも要注意！ 初期反射を防ぐためにそれぞれのスピーカーが周りの壁と少なくとも 40cm は離れているように配置してください。

全てのチャンネル（サブウーハーはもちろん除きます）のために同じタイプのスピーカーを使用することをお勧めします。

ネガティブ・フレクシーやフェーズ・カラーレションを受けないためです。

詳しい説明は ITU(国際電気通信連合) 勧告 BS.2159-4 をご確認ください。



トラブル・シューティング

現象	解決方法
電源を ON にした時グリーン LED は点灯するがオーディオが出力されない	<ul style="list-style-type: none">・配線を確認し、全てのケーブルが正常に接続されているか確認してください。・スピーカーの背面パネルにある SOURCE スイッチによって正しく入力ソースが選択されていることを確認してください。・音源をスピーカーに直接接続してください。音が出れば信号経路に間違いがあります。・スピーカーの背面パネルが高温になっている場合、アンプ内部の熱保護回路が電氣的損傷を防止するためにオーディオ出力をシャットダウンしている可能性があります。
ハム、バズ及びノイズ	<ul style="list-style-type: none">・信号ケーブルを全て外してください。これでノイズが解消されれば、ご使用のオーディオケーブルと信号経路に問題がないか確認してください。・RFI(電話機器、スイッチング電源、ラジオ機器) が大量に発生する可能性のある電気機器をスピーカーの近くに置いていないかお確かめください。・別の電源ソケットにスピーカーを接続してみてください。
「OL」 LED 常時点灯	<ul style="list-style-type: none">・過大入力、GAIN コントローラーを使用して適正レベルへ設定してください。
「SYNC」 LED は点灯するが音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・スピーカーの背面パネルにある SOURCE スイッチによって正しく HEDD ブリッジが選択されているか確認してください。

テクニカルデーター

ドライバー	
ウーハー数	1
バスケット直径	67.2" (182mm)
ボイスコイル直径	1.5" (38mm)
振動板素材	UHC cone (Ultra Honeycomb Composite)
ツイーター数	1
タイプ	HEDD AMT (HEDD Air Motion Transformer)
等価ダイアフラム直径	2.2" (56mm)
入力コネクター	
アナログ バランス/アンバランス	XLR / RCA
デジタル/HEDDブリッジオプション	AES67 Ravenna, Dante, AES3/EBU
一般的データー	
アンプ出力 (ICEpower)	2 x 100W
入力感度	440mVrms (-4, 9dBu) / 90dB SPL / 1m at 0dB GAIN
入力ゲイン	-30dB ... +6dB
最大入力レベル (バランス/アンバランス)	6Vrms (+17. 8dBu, +17. 6dBV) / 4. 5Vrms (+15. 3dBu, +13. 0dBV)
入力インピーダンス (バランス/アンバランス)	10k Ω / 47k Ω
ハイ・シェルフ EQ>2kHz	\pm 4dB (at 20kHz)
ロー・シェルフ EQ<200kHz	\pm 4dB (at 50Hz)
周波数特性	38Hz - 50kHz
周波数特性 \pm 1.5dB	45Hz - 20kHz
THD 90dB/1m>100Hz	\leq 0.5%
最大 SPL サイン波 100Hz - 3kHz/1m	\geq 107dB
最大 SPL ピーク (ペア) /1m	\geq 116dB
クロスオーバー周波数	2. 3kHz
重量	10kg (22lbs)
寸法	370mm x 220mm x 300mm
保証期間	1年間

* この説明書内の情報やデータは、予告なく変更する場合があります。